



令和7年9月4日

担当課	総務企画課
担当者	藤原
電話	(073) 488-5102
内線	

3類感染症（腸管出血性大腸菌感染症）について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（O157）
患者	和歌山市内在住 30歳代 女性
届出年月日	令和7年9月2日
経過	8月27日（水）腹痛 下痢 発熱 8月29日（金）医療機関受診 検便 9月2日（火）検便の結果 O157 ペロ毒素（+） 主治医から届出 現在、回復傾向です。

プライバシーの保護については、十分にご配慮をお願いします。

《参考 本症の発生状況》

令和7年9月3日現在

	和歌山市	和歌山県（市内含む）	備考
令和7年	16名（6名無症状含む）	29名（11名無症状者含む）	本患者含む
令和6年	11名（2名無症状者含む）	27名（11名無症状者含む）	
令和5年	15名（2名無症状者含む）	21名（3名無症状者含む）	

- ・腸管出血性大腸菌感染症は、夏季に多く発生します。
- ・調理の前や食事前、また排便後などには、十分に手洗いをしてください。
- ・食品を十分に加熱したり、調理後の食品はなるべく食べきるなどの注意が大切です。
- ・特に、小さなお子さんや高齢者、抵抗力が弱い方は重症化しやすいので、生肉や加熱不十分な肉料理を食べないように気をつけましょう。
- ・腹痛・下痢などの症状がみられた場合には、早めに医療機関を受診しましょう。